

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本語学概論</p>	<p>対象学科・学年 教育教福1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">大槻 美智子</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">(1) 言葉と人間／言語権 (2) 日本語の音・文字表記などの諸特徴を学習する。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>人間(私たち)にとって言葉とは何か、また言葉にはどんなしくみや歴史があるのかを知ることが目標です。いくつかの課題を設定するので、それをグループで調査し発表する活動もします。これを通して、①言葉の問題を身近に考える。②調査することを覚える。③発表することに慣れる。④質疑応答に慣れる。ことを目指しています。</p>		
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">課題・レポートと定期試験で総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">特になし。 必要に応じてプリントなど配布。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">適宜紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1回 全体の講義内容等についての説明、グループ分け 2回 《言葉の機能1》運用面の四つの機能 ①親和 ②伝達 ③表出・表現 ④思考 3回 《言葉の機能2》動物と人間のことばの違い 4回 《言葉の機能2》動物と人間のことばの違い 5回 《言葉の機能3》<u>カテゴリー(範疇)化</u>、世界を切り取る言葉と文化 言語相対論・言語決定論 6回 《言葉の機能3》<u>カテゴリー(範疇)化</u> 7回 《国家と言語》<u>多言語国家/少数民族</u> 8回 《国家と言語》琉球語・アイヌ語を聞く 9回 《国家と言語》アイヌのビデオ レポートの書き方 10回 点字・指文字・手話 11回 <u>音</u>一言語音(物理音・歌との違い)とは 12回 聴覚障害児への発音指導 13回 発音のしくみ① 14回 濁音・半濁音・拗音・直音 15回 まとめ 16回 清音・濁音(試験返却 レポートの締め切り) 17回 日本語の音節の特徴 18回 撥音・促音・長音 19回 頭音法則 20回 アクセントの特徴・効用/東京アクセント・京都アクセント 21回 アクセントの移動と音変化 22回 50音図・いろは歌 23回 文字というもの(世界の文字、文字五千年の歴史) 24回 // 25回 漢字の成立・六書の原理 26回 漢字の受容方法(正訓・正音(略音などを含む)/音仮名・訓仮名) 27回 日本語の表記 28回 平かなと片仮名の成立 29回 // 30回 まとめ 		